

来へ響け！伝統の鼓

第12回

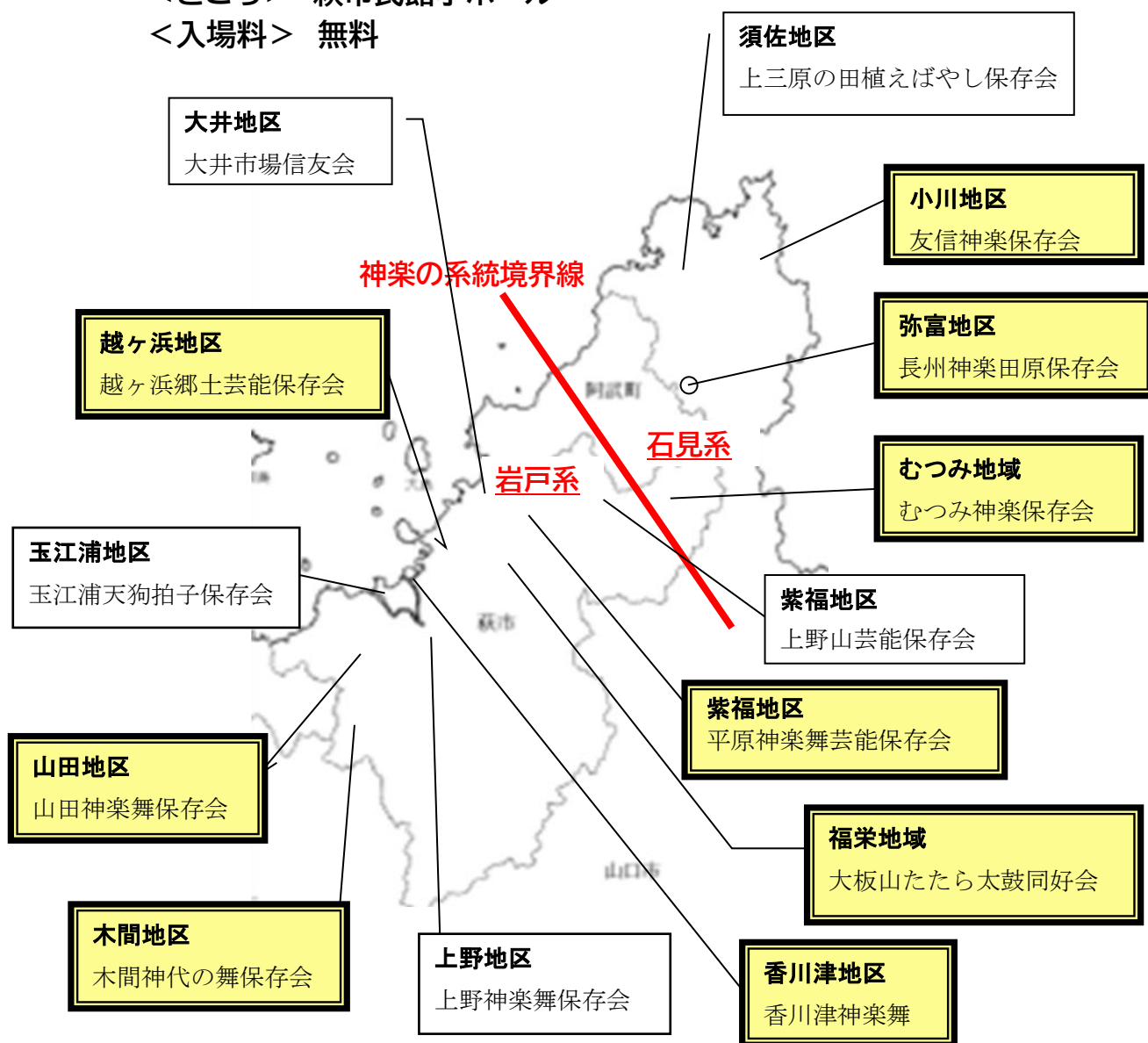
萩市伝統芸能フェスティバル

萩市内9団体の13演目で神楽舞などの地域の伝統芸能を披露します！

<とき> 令和8年11月15日(日)10:00~15:30

<ところ> 萩市民館小ホール

<入場料> 無料



萩市伝統芸能連絡協議会加盟は14団体（うち は出演団体）

神楽とは…

神様に奉納するために行う歌や踊り、音楽のことで、五穀豊穡、無病息災、家内安全などを願って行われてきた日本の伝統的な神事・芸能の一つ。

第12回 萩市伝統芸能フェスティバル — プログラム —



時 間	内容及び演目	演 目 の 概 略	出演団体名	地域名
10:00	開会行事			
10:15	1.舞始め	舞始めは一人舞で舞殿（まいどの）を清める意味を持ち、鈴と御幣（ごへい）をもって舞います。	山田神楽舞保存会	山田地区
10:30	2.幣の舞	五穀豊穡・家内安全・牛馬安全・氏子の延命・無病息災を願って舞われる23演目の一つで、特にこの舞は、安産を祈願する舞とされている	木間神代の舞保存会	木間地区
10:45	3.八幡	その昔、九州豊前の国に、人を喰らい国を脅かす第六天の悪魔王が現れました。この知らせを受けた八幡麻呂は、勅命を受けて悪魔退治に向かいます。現れた悪魔王は「神通力」を使い、その身を隠しては神を脅かしますが、八幡麻呂は揺らぐことなく神聖な弓矢を構えます。邪気を払う弓の弦音（つるね）とともに一矢を放ち、ついに悪魔王を討ち果たしました。この悪魔退治の威徳により、八幡麻呂はのちに「八幡大菩薩」として仰がれることとなりました。神の威厳溢れる舞と、伝統的な神楽の格式をじっくりとお楽しみください。	友信神楽保存会	小川地区
11:30	4.昇殿巫女の舞	萩藩二代藩主綱広の時、安芸厳島神社を勧請、越ヶ浜の池畔に一社を建立。毎年4月第2土曜・日曜（春祭り）と旧暦6月16日・17日（管弦祭）に厳島神社の祭礼に舞を奉納しています。	越ヶ浜郷土芸能保存会	越ヶ浜地区
11:45	5.赫い風	大板山たたら太鼓は、たたら製鉄遺跡をテーマにして、製鉄炉の炎の力強さをイメージした創作和太鼓グループです。 「赫い風」は、自然と共に生きる地元の人々の屈託のない、のびのびとした生き様を表現するもので軽妙なバチさばきが見どころです。	大板山たたら太鼓同好会	福栄地域
休憩(12:00～13:00)				
13:05	6.帯の舞	右手に鈴、左手に帯を持ち2人で舞う。出産後の腹帯を借り、子孫繁栄・無病息災を祈願する舞です。	香川津神楽舞	香川津地区
	7.弓の舞	左手に弓、右手に鈴を持ち2人で舞う。弓を射る仕草で四方（東・西・南・北）の邪気を取り払う。五穀豊穡・家内安全を祈願します。		
13:20	8.四方払	平原地区に伝わる大和の舞は、今から170年前、伊勢の国、現在の三重県より持ち帰り、戦前までは毎年地区の繁栄と豊作を祈念し、神社に奉納していましたが、戦後途絶えていたものを、昭和56年に保存会を結成し、現在に至っています。大和神楽舞は、大太鼓一貼りだけの素朴な演奏で舞うのが特徴で、「四方払」、「岩戸開」を含め15種類から成り立っています。	平原神楽舞芸能保存会	紫福地区
	9.岩戸開			
13:35	10.恵比須・大黒	明治時代に島根県益田市から来られた山師によって、「石見神楽六調子」が伝えられたと言われています。商売・漁業等の神様として知られている「事代主命」が、父親の「大国主命」と共に「鯛を釣る」様子を神楽化したもので、大変おめでたい演目です。釣りを始める前に、お菓子等を撒きますので、縁起物としてお持ち帰り下さい。	長州神楽田原保存会	弥富地区
14:15	11.八衢	躍動感あふれる石見神楽の中では、ゆったりと舞う演目。各社中とも演じる機会は少なく、なかなかお目にかかれない演目です。	むつみ神楽保存会	むつみ地域
14:50	12.宇立	宇立は、刀、鈴、扇子をもって舞う二人舞です。刀を振り回し、邪気を払う大変勇壮な舞です。	山田神楽舞保存会	山田地区
	13.舞納め	舞納めは、一人舞で、舞殿（まいどの）を清める意味を持ち、鈴と御幣（ごへい）をもって舞います。		
15:15	閉会			